

調査結果から、幼稚園・こども園や家庭、地域において、生活の中にある身近なものを利用して作って遊ぶことを通した親子の触れ合いを広げたり、限りある資源を大切にするという意識を高めたりすることで生活体験を豊かにするために、以下の提言をする。

やってみよう!



提言 1 遊びや生活の中で、身近なものに関わり、いろいろな素材に親しんだり、作って遊んだりすることを体験できるように遊びや環境を工夫しよう。

- ▶ 自ら生活の中にある身近なものに関わり、いろいろな素材に親しんだり、身近なものを使って作って遊ぶことを楽しんだりできるように援助や環境の工夫をする。
- ▶ 園生活の中にある身近な素材を使って作る機会を意図的・計画的に作り、身近な素材で作って遊ぶ楽しさを感じたり、遊びの中で自分のイメージを身近な素材を使い、作って表現することを楽しんだりできるようにする。

- 幼児が自分なりのイメージを表現したくなるような身近な素材や材料を準備し、作って遊ぶことを繰り返し楽しめる環境にしよう!
- 様々な身近な素材や材料で作って遊ぶことを繰り返し体験し楽しめるように、作って遊ぶ遊びや活動を工夫しよう!
- 様々な身近な素材や材料を使って、作って遊ぶ遊びや活動を指導計画に位置付けよう!
- 身近な素材や材料を使って作って遊ぶ遊びや活動の指導や環境づくりについて研修し、実践に生かそう!

提言 2 幼児期に生活の中にある身近なものを利用して作って遊ぶ大切さを保護者と共有し、親子で一緒に作って遊ぶことを楽しめるようにしよう。

- ▶ 家庭でできる身近なものを利用して作って遊べる活動を保護者に伝え、親子で一緒に触れ合いながら作って遊ぶことを楽しむ機会を増やす。
- ▶ 保護者が親子で作って遊ぶ楽しさや身近な素材に関わり、作って遊ぶ体験が表現の幅を広げたり、表現する意欲や想像力を豊かにしたりということを実感し、日常的に親子で作って遊ぶことを楽しめるようにする。

- 家庭でできる身近なものを使って、作って遊ぶ遊びや活動を親子でやってみる機会を作ろう!
- 親子で身近なものを使って、作って遊ぶ遊びや活動を指導計画に位置付けることで、親子で作って遊ぶ機会を増やそう!

提言 3 社会実態や環境問題を踏まえ、生活の中にある身近なものを利用して、親子で一緒に作って遊ぶことを積極的に楽しめるように発信しよう。

- ▶ AIの時代に伴う親子で触れ合う機会の減少やSDGsなどの環境問題を意識し、親子で生活の中にある身近なものを利用して作って遊ぶことを通して、親子での触れ合いの機会を広げたり、限りある資源を大切にすることを高めたりできるようにする。
- ▶ 親子で一緒に作って遊ぶことを積極的に楽しめるようにしたり、作って遊ぶ遊びや活動の具体例の情報を発信したりする。

- 社会の実態や環境問題への意識を高め、身近な素材や材料を使って、作って遊ぶことを通して、親子で触れ合うことの大切さや持続可能で、限りある資源を大切にすることの重要性を感じられるようにしよう!
- 親子で身近なものを使って、作って遊ぶ遊びや活動を積極的に楽しめるように作って遊ぶ遊びや活動の具体的な例や方法などの情報を様々な方法で発信しよう!



身近なもので作って遊んで!
親子で一緒に楽しもう!



身近なものとの関わりを通して子どもの豊かな感性を育むために

会長 箕輪 恵美

今、園に通っている子どもたちが社会を担うようになる頃、世の中は予想を超える変化を見せていることが考えられます。そのような未来を希望あるものにしていくためには、未来を担う一人一人が自ら考え行動する力や今までにない発想を生み出す創造力を備え、異なる考えを受け入れ合い、知恵を出し合う中で、新たな道を見出していくことが必要です。そのような力の素地は、人格形成の基礎を培う幼児期に身近な人やものと直接関わる中で育まれる、と言われています。例えば、幼児期に身近なものに直接触れ、驚きや感動を周りにいる人に伝えたり共感したりすること、身近なものを使って作ることや作ったものを使って身近な人と一緒に遊んだりすることの中では、豊かな感性や表現力の素地が培われることが期待できます。

そこで、本研究調査では「身近なものに関わり、作って遊ぶ活動」に焦点を当て、初年度は、園や家庭の実態調査を行いました。このリーフレットには実態調査の結果に加え、全国7ブロックで開催された「全国キャンペーン・研修会」で親子で一緒に作って遊ぶ活動を体験していただいた様子や成果も掲載いたしました。各園や各ご家庭において、作って遊ぶ体験を豊かにする一助になれば幸いです。

編集・執筆 特別事業委員

- | | | |
|-------|-------|----------------|
| 委員長 | 渡部佳代子 | 江東区立第五砂町幼稚園 |
| 副委員長 | 足立 祐子 | 台東区立竹町幼稚園 |
| 委員 | 山口 晃司 | 中央区立豊海幼稚園 |
| 委員 | 浅沼美穂子 | 浦安市立神明認定こども園 |
| 委員 | 青山 伸子 | 港区立芝浦幼稚園 |
| 委員 | 川嶋 佳恵 | 杉並区立高井戸西子供園 |
| 委員 | 宮山加奈子 | 浦安市立北部認定こども園 |
| 委員 | 穴原 江美 | 千代田区立いずみこども園 |
| 国公幼会長 | 箕輪 恵美 | 中央区立有馬幼稚園 |
| 同副会長 | 高橋 慶子 | 目黒区立みどりがおかこども園 |
| 同事務局長 | 佐藤 忍 | 国幼事務局 |

令和4年度 全国キャンペーン・研修会ブロック担当

- | | | |
|-------|-------|----------------|
| 東北北海道 | 菅生由美子 | 潟上市立昭和こども園 |
| 関東甲信越 | 高橋 和子 | 那珂川町立ひばり認定こども園 |
| 東海北陸 | 小田島範和 | 鯖江市北中山幼稚園 |
| 近畿 | 高山 千穂 | 東近江市立あかね幼児園 |
| 中国 | 木村みゆき | 広島市立矢賀幼稚園 |
| 四国 | 滝 知代 | 東かがわ市立引田こども園 |
| 九州 | 高橋 京子 | 宮崎大学教育学部附属幼稚園 |

令和4年度 特別事業委員研修会講師

- | | | |
|--------|-------|-------------|
| 国公幼副会長 | 朝野 浩行 | 東京学芸大学附属幼稚園 |
|--------|-------|-------------|

発行日 令和5年3月3日
編集発行 全国国公立幼稚園・こども園長会 会長 箕輪恵美
住所 〒113-0034 東京都文京区湯島 1-5-28 ナーベルお茶の水208

電話 03 (5684) 2240
FAX 03 (5684) 2174
E-mail entyokai@kokkoyo.com
ホームページ https://kokkoyo.com



全国国公立幼稚園・こども園長会
特別事業委員会

事業名:身近なものとの関わりを通して子どもの豊かな感性を育むための調査研究
— 身近なもので作って遊んで!親子で一緒に楽しもう! —

事業のねらい 生活の中にある身近なものを利用して、作って遊ぶことを通した親子の触れ合いを広げ、さらには、限りある資源を大切にするという意識を高めることをねらいとして、2年間の調査研究を行う。

1年次

- 保護者や教諭を対象に、作って遊ぶことに関する実態調査を実施。
- 親子で作って遊ぶことを楽しみながら、保護者・地域と共に学ぶ、幼児教育の重要性についての講演会等の全国キャンペーン・研修会の実施。
- 身近なものとの関わりを通して、親子のつながりを深めるための環境整備や実践化を図るためのリーフレットの作成。

2年次

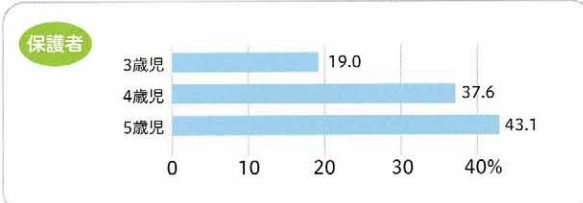
- 親子で身近なものに関わり、作って遊ぶことの重要性を発信するための教材開発。
- 身近なものとの関わりを通して、子どもの豊かな感性を育むよう、行動化を促す全国キャンペーン・研修会の実施。
- 自園の教育活動や親子での活動に活用できるようにする報告書の作成。

身近なもので作って遊ぶ活動に関する実態と意識についての調査

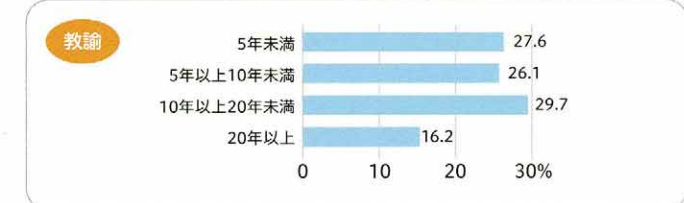
調査対象園:全国の幼稚園・こども園から選定
 回答者数:保護者1,348名 教諭532名
 調査実施期間:令和4年9月

調査結果から身近なものとの関わりに関する実態や、教諭・保護者の意識の傾向について以下のように読み取った。

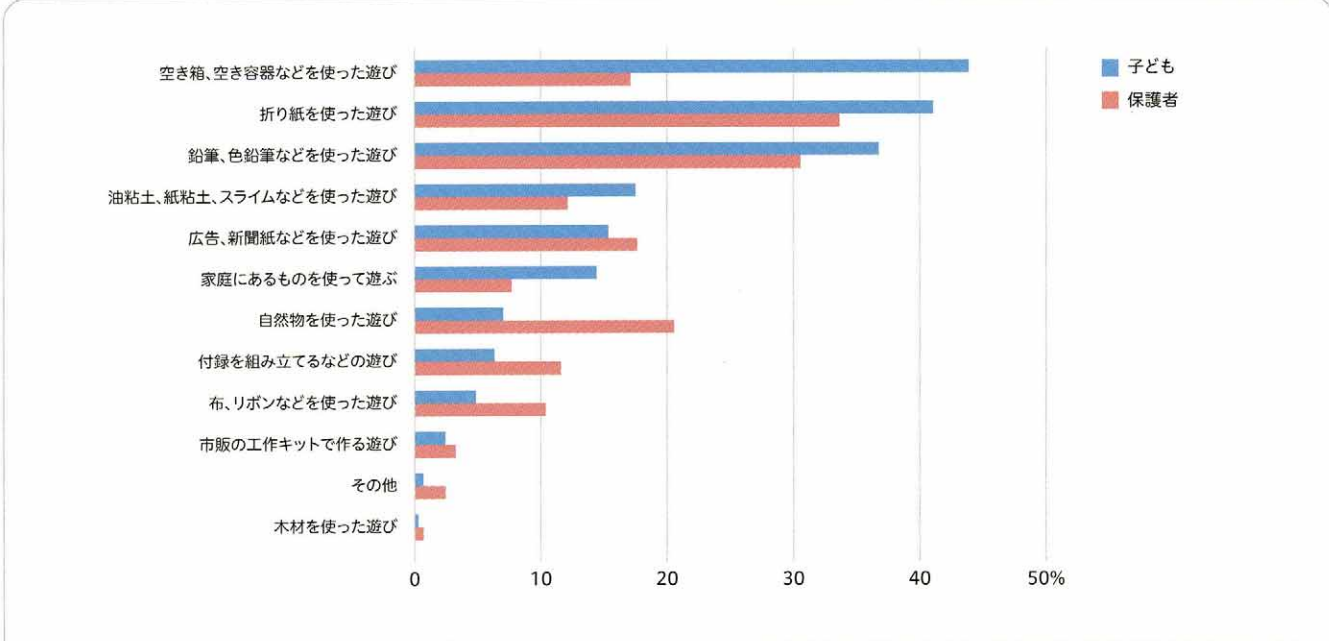
調査対象の子どもの学年



調査対象の教諭の経験年数

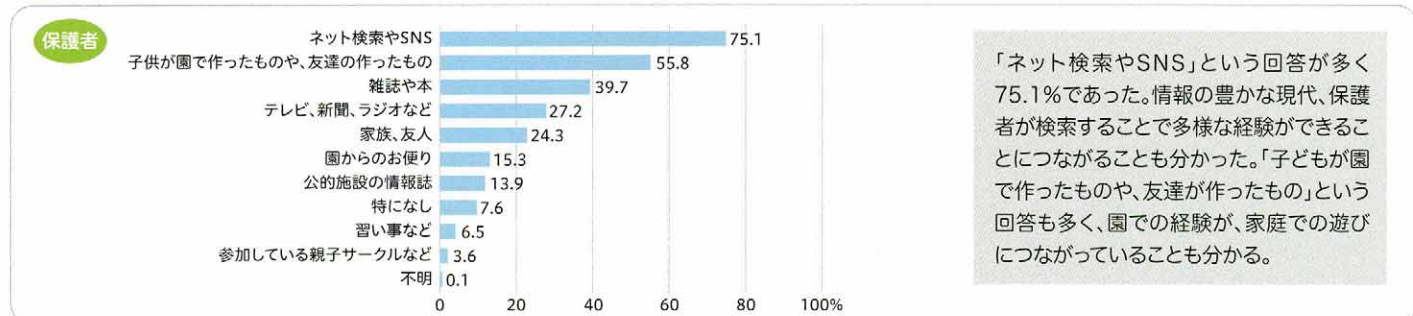


保護者と子どもの実態 身近なもので作って遊ぶことに関する保護者の幼少期の実態と子どもの実態



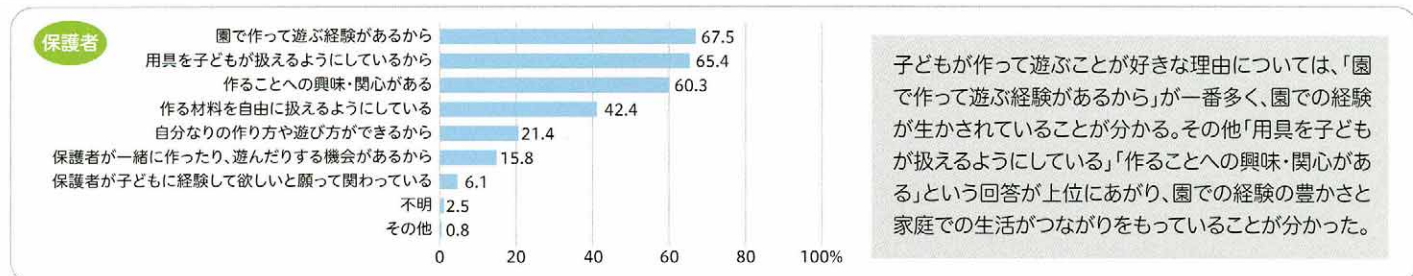
保護者も子どもも、幼少期に作って遊んだ経験の頻度では、「折り紙を使った遊び」「鉛筆、色鉛筆などを使った遊び」が共に上位であった。保護者は次に「自然物を使った遊び」が多かったが、子どもは「空き箱、空き容器などを使った遊び」が一番多くなっている。子どもは、園生活での製作活動の経験が生きていると考えられる。

保護者の実態 親子で一緒に製作する際に、どこから情報を得ているか



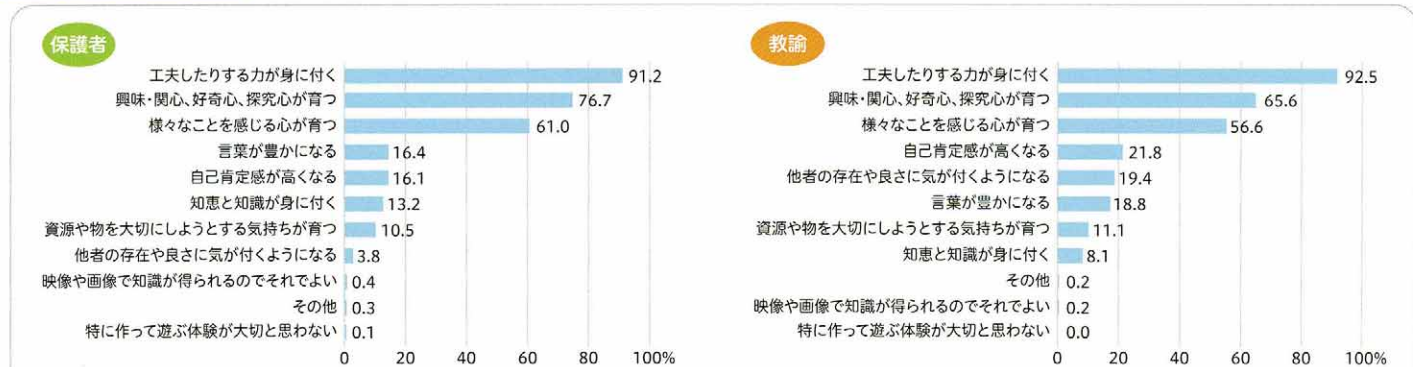
「ネット検索やSNS」という回答が多く75.1%であった。情報の豊かな現代、保護者が検索することで多様な経験ができることにつながることも分かった。「子どもが園で作ったものや、友達のもの」という回答も多く、園での経験が、家庭での遊びにつながっていることも分かる。

保護者の実態 子供が作って遊ぶことが好きな理由



子どもが作って遊ぶことが好きな理由については、「園で作って遊ぶ経験があるから」が一番多く、園での経験が活かされていることが分かる。その他「用具を子どもが扱えるようにしている」「作ることへの興味・関心がある」という回答が上位にあり、園での経験の豊かさや家庭での生活がつながりをもっていることが分かった。

保護者と教諭の意識 幼児期の作って遊ぶ経験は、今後どのように役立つか

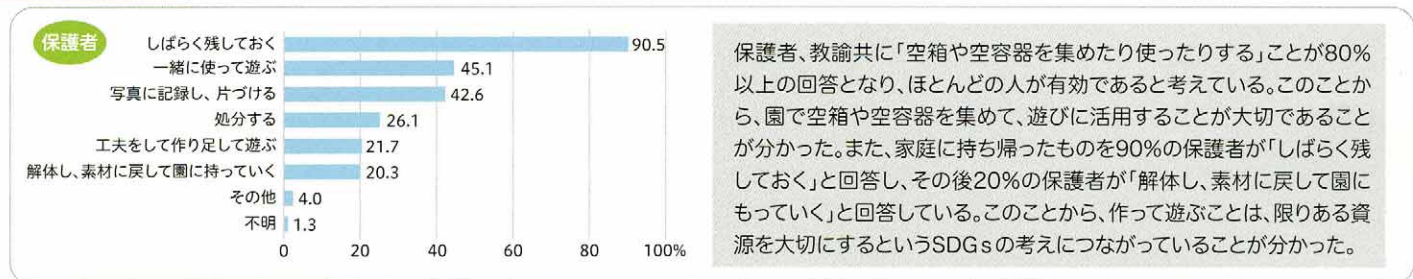


保護者、教諭共に、「工夫したり考えたりする力が身に付く」「興味・関心、好奇心、探究心が育つ」「様々なことを感じる心が育つ」が上位を占めている。幼児の作って遊ぶ経験は、幼児の豊かな心を育む上で大切であることを、保護者、教諭共に感じていることが分かる。このことから、保護者との連携、啓発への意識化や行動化を促すために、園からの発信や、働きかけが重要であると考えられる。

保護者と教諭の意識 エコロジーを考える上で大切だと思うことは



保護者の意識 園で作って持ち帰ったものを家庭でどうしているか



保護者、教諭共に「空箱や空容器を集めたり使ったりする」ことが80%以上の回答となり、ほとんどの人が有効であると考えている。このことから、園で空箱や空容器を集めて、遊びに活用することが大切であることが分かった。また、家庭に持ち帰ったものを90%の保護者が「しばらく残しておく」と回答し、その後20%の保護者が「解体し、素材に戻して園にもっていく」と回答している。このことから、作って遊ぶことは、限りある資源を大切にするというSDGsの考えにつながっていることが分かった。

親子の触れ合いを通して、身近なもので作って遊ぶ楽しさ

秋田県公立幼稚園・こども園協会

① 東北北海道ブロック

実施日 令和4年11月12日(土) 会場 湯上市 市民センター昭和三館

参加者 [計54名]

- 園児20名 ● 保護者19名 ● 未就園児1名
- 園長4名 ● 教諭9名 ● その他1名

作って遊んで楽しもう! — 親子でめぐるスタンプラリー —

受付	開会式	童話の会 紙ふうせん	休憩	親子で制作スタンプラリー	閉会式
9:10	9:30	9:50	10:30 10:40	11:50	12:00

講師 童話の会 紙ふうせん

紙ふうせんのおはなし



● 楽しい歌声やおはなしに子どもたちは夢中になった。最後にトーンチャイムの演奏もあり、みんなが魅了された。

お家の人と一緒に作ってみよう



● 紙皿UFOに挑戦!「どんな模様にしよかな〜」と真剣なまなざしで絵を描いた。新聞紙をはさみでチョコチョコ魔法のスティックの出来上がり!

ぜんぶできたよ!



● 全部のコーナーを回り、最後にカードを見せて、うさぎさんからも褒められ、楽しんだ。

参加者の声

- 子どもたちがのびのびと楽しそうに作っている姿を見て、成長がとても感じられた。このような機会をつくってくださりありがとうございます!
- いろんな体験ができてとても楽しかった。子どもたちがとてもいきいきしていました。あつという間の時間だった。
- 子どもだけでは難しい作業を親子で一緒にやっていて「ありがとうママ」という温かい言葉や「お家でもやろう!」という声が聞かれた。

福井県公立幼稚園教育研究会

③ 東海北陸ブロック

実施日 令和4年10月15日(土) 会場 鯖江市 北中山小学校体育館

参加者 [計45名]

- 園児17名 ● 保護者17名 ● 園長4名
- 教諭5名 ● 行政2名

親子で作って楽しもう! すてきな段ボールハウス

受付	開会式	講師からの説明、ハウス制作(カット・組み立て・飾り付け)	閉会式	記念撮影
9:00	9:30	9:40	11:25	11:35 11:40

講師 鯖江市立待小学校教諭 清水 浩樹

ここを切ってみようか



● 園児が段ボールカッターを上手に使いこなすことに保護者が驚いていた。

一緒に作ると楽しいね



● 作りながら、「ここをもっとこうしよう」と、アイデアが次々とあふれてきた。

完成!わたしだけの家



● 家に持ち帰って、この段ボールハウスで寝てみたという園児もいた。

全員で記念撮影



● 最後に講師の清水先生を囲んで、みんなで記念撮影。どの親子も満足そうな表情だった。

参加者の声

- 身近なものを使って子どもと一緒に作るということができてよかった。こうしたい!と自から作業に関わり、興味をもって取り組んでいた。
- 家ではなかなかできない親子のふれあい体験ができてよかった。子どももとても楽しんでた。
- 子どもの発想に驚かされ、楽しかった。親子で助け合いながら、話し合いながら、協力して作ることができ、とても楽しい時間になった。

栃木県公立幼稚園・こども園長連絡会

② 関東甲信越ブロック

実施日 令和4年11月19日(土)

会場 那珂川町 ①ひばり認定こども園 ②すこやか共生館 ③いわむらかずお絵本の丘美術館

参加者 [計127名]

- 園児32名 ● 保護者29名 ● 園長5名
- 教諭25名 ● 教育委員会・行政4名 ● その他32名

親子で愉しもう!人・もの・自然! — 那珂川townのアクティビティ —

受付	開会式	町内3会場同時開催 ①ひばり認定こども園 ②すこやか共生館 ③いわむらかずお絵本の丘美術館	閉会式
9:45	10:00	10:10	11:50 12:00

講師 なす風土記の丘資料館職員・那珂川町オピニオンリーダーこうまの会・いわむらかずお氏・美術館館長

地元の方と共同した体験活動



● 園の先生の遊びコーナーを楽しんだ。
● 火起こし体験や、地元団体と共同しておにぎり作りをしたり、地場産野菜での豚汁や、町特産品のホンモロコの唐揚げをいただいたりした。

町のオピニオンリーダーによる体験コーナー



● 地元建設会社の社長さんと一緒に、石窯を使ってピザ焼き体験をし、美味しくいただいた。
● ペットボトルとドングリを使って、手作りおもちゃを作った。

いわむらかずお絵本の丘美術館での活動



● いわむらかずお先生のお話や、昆虫や草花を探すフィールドワーク、オリジナルエコバックの色塗り体験を楽しんだ。

参加者の声

- 少ない人数だったが、親子でゆったりと丁寧ないろいろな遊びを経験することができ、とても良い活動になったのではないかと感じた。
- 子どもと一緒に遊ぶことを楽しめた。じっくり夢中になって遊んだり、「どうやったら上手いかな?」と一緒に考えたりすることが楽しかった。
- 子ども達もすごく楽しそうだった。大自然の中でのびのびと、絵本にも触れてすばらしい体験ができた。

滋賀県公立幼稚園・こども園長会

④ 近畿ブロック

実施日 令和4年11月19日(土)

会場 東近江市 東近江市立船岡中学校体育館

参加者 [計103名]

- 園児26名 ● 保護者26名 ● 園長35名
- 教諭10名 ● 保育所関係1名 ● 行政3名 ● その他2名

親子でいっしょに作って遊んで楽しもう!

受付	開会式	親子でいっしょに作って遊んで楽しもう!	閉会式
9:00	9:30	9:45	11:00 11:15

身近な素材を大切に(保護者への啓発)



● 身近な素材や手作りおもちゃを紹介しながら、物を大切にする気持ちや家庭での親子の時間の過ごし方について啓発した。

親子で作って遊んでみよう



● 親子でおもちゃをふたつ作り、作ったおもちゃを使って遊んだ。親子ともに笑顔がいっぱいあふれた。

手作りおもちゃ集の作成



● 手作りおもちゃ集を作成し、市内公立園の5歳児に配布する。おもちゃの見本を展示した。

参加者の声

- ゆっくりと子どもと関わり、作るだけではなく作ったもので遊べたのがよかった。
- 身近なものでこんなに楽しいおもちゃを作ることができて驚いた。子どもも喜んでた。
- 子どものキラキラ輝く目とその姿を見る温かいまなざしの保護者に触れ、心が温まった。
- 手作りおもちゃ集をぜひ自園で活用した。手作りおもちゃの展示も参考になった。

広島県公立幼稚園・こども園長会

⑤ 中国ブロック

実施日 令和4年9月10日(土)
会場 広島市 マエダハウジング東区スポーツセンター

参加者 [計296名]

- 園児78名 ● 保護者119名 ● 未就園児18名 ● 小学生45名
- 園長24名 ● 教諭7名 ● 行政2名 ● 講師3名

遠くへ投げて飛ばしてみよう 紙ひこうき

受付	開会式	「身近なもので作って遊ぼう」 親子で紙ひこうき作り体験	休憩	「紙ひこうきを飛ばしてみよう」 親子で紙ひこうき大会に参加	閉会式
9:30	10:00	10:15		11:25	12:30

講師 折り紙ヒコーキ協会 会長 戸田 拓夫

みんなで一緒に伸び伸び遊ぼう

親子で作ろう紙ひこうき

みんなで紙ひこうき大会



●開会行事では、間隔を十分取り親子体操を行い、親子で体を動かすことを楽しんだ。



●親子での紙ひこうき作りでは、説明を聞く、作る、試す、考える、工夫する等、主体的な体験の時間となった。



●広いフロアで、思い切り試す体験や親子で飛行距離を競う大会への参加等、感動的な体験の機会となった。

参加者の声

- 今まで作ったことのない折り方を知ることができ、遠くに飛ばす楽しさを感じることができ、紙ひこうき作りがより楽しくなった。また、何度も試す中で、うまくいくように考え、工夫する楽しさを実感できた。
- 紙ひこうきがこんなにも深い遊びだと知ることができよかった。うまくいくように考え、工夫する大切さを実感したと思う。
- 家族で夢中になり、楽しむことができてよかった。うまく飛ばない難しさも経験することができてよかった。
- 初めて紙ひこうきを子どもと一緒に折り、家でも作って親子で試してみようと思った。コロナ禍でも対策をして参加でき有意義な時間となった。

香川県公立幼稚園・こども園長会

⑥ 四国ブロック

実施日 令和4年11月12日(土) 会場 東かがわ市 白鳥中央公園体育館

参加者 [計121名]

- 園児49名 ● 保護者51名 ● 園長15名
- 行政5名 ● その他1名

紙コップで遊ぼう — カタチがかわる カラダもかわる —

受付	開会式	紙コップで遊ぼう	閉会式
9:15	9:45	10:05	11:25 11:30

講師 NPO法人 アーキペラゴ 芸術士 なーの
NPO法人 アーキペラゴ 芸術士 ミキユキ

頭に乘せて

積み重ねて

つなげて



●紙コップに自分の好きな絵を描き、スペシャルカップを作り、それを頭に載せて遊んだ。



●紙コップを自由に積み重ねていくうちに、どんどん高くなった。



●最後は、みんなの紙コップをつなげて大きな輪にした。

参加者の声

- 子どもが楽しむ姿を観察しようと思っていたが、親が夢中になった。親が本気で楽しむと子どもも自然と笑顔があふれだして、幸せな時間を過ごせた。
- グループが一緒になった友達と協力したり、アイデアを出し合ったり、どんどん紙コップが形を変えていくのが、また楽しそうだった。
- 親が思っている以上に子どもが自由な発想で色々な形を作っていて、驚いた。また、手先が器用になっている事も知り、成長に気付いた。

宮崎県公立幼稚園・こども園長会

⑦ 九州ブロック

実施日 令和4年11月18日(金)
会場 宮崎市 宮崎大学教育学部附属幼稚園

参加者 [計80名]

- 園児20名 ● 保護者20名 ● 園長10名 ● 主任3名
- 教諭・講師18名 ● 小学校関係4名 ● 行政1名 ● その他4名

身近なものでつくって遊んで! 親子で一緒に、おまつりごっこを楽しもう!

受付	開会式	身近なものでつくって遊んで! 親子で一緒に、おまつりごっこを楽しもう!	休憩	グループ別協議会	指導講評	閉会式
9:00	9:30	9:40	11:10 11:20	11:45	11:55	12:00

講師 宮崎大学教育学部 講師 樺島 優子

いろいろな材料を用いて工夫してつくって

おまつりごっこを楽しもう!



●子どもが主体的に考え、保護者に教え、親子で一緒に商品や飾りをつくってお店さんの準備をした。



●おまつりごっこで、親子で一緒にお店屋さんやお客さんになって遊ぶことを楽しんだ。

参加者の声

- 子どもと一緒に遊ぶ中で、親子で会話をしながら取り組むことができ、コミュニケーションが生まれたのでとてもよい機会となった。
- 「親子で一緒に楽しもう」の観点が活かされ、親子で一緒につくって、ごっこ遊びを楽しみ、笑顔がたくさん見られた活動だった。
- 身近ないろいろな材料から使いたいものを見付け、想像を膨らませ、考え、工夫しながらつくることを楽しんでた。保育の環境構成に生かしたいと思う。

全国キャンペーン・研修会の成果と課題

研修会では、親子での関わりを楽しみながら身近にあるものを利用して作ったり、作ったものを使って遊んだりする体験をした。研修会を通じた成果や課題は以下のものである。

成果

保護者は...

- 親子で一緒に作ったり遊んだりする中で、子どもの発見や喜び、考え試す姿などに触れ、親子でじっくりと関わる機会の大切さを感じた。
- 親子で会話しながらじっくりと取り組むことで、コミュニケーションをとるよい機会となった。
- 身近にあるものを活用して、実に様々なものを作り楽しめることを知り驚いた。
- 講演や親子での体験を通して、親子で楽しめる遊びや素材等について知ることができた。家庭でもぜひやってみようと思った。

教師は...

- 子どもの気持ちや発想に保護者が寄り添い見守ったり、親子で一緒に夢中になって作って遊んだりする姿を見て、改めて親子で関わりながら活動する機会の重要性を感じた。
- 身近なものや素材に触れたり、作って遊ぶことを楽しんだりできるような園での環境づくりや、家庭と園のつながりを意識した指導計画の工夫が大切であると感じた。

今後の課題

- 身近なものを利用して親子で一緒に作る楽しさを味わったり作ったもので遊びながら親子で触れ合ったりすることの重要性を発信し、積極的に親子で作って遊ぶ機会づくりをしていく必要がある。
- 園や家庭、地域で、身近にあるものへの興味・関心を高め、限りある資源を大切にしようとする気持ちや行動を引き出すための環境づくり、遊びや活動の計画を進めていく必要がある。



行動化を促すためのキャラクター「チャレンジくん」